

令和7年度 学校法人盛岡学園みなみ幼稚園 保育教諭自己評価

対象 保育教諭 12名 経験年数 2年～33年（平均18.1年）

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
I	保育の計画性				
1	園の教育理念・教育方針の理解	33	67	0	0
2	幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解	25	75	0	0
3	教育課程の編成と評価	42	58	0	0
4	指導計画の作成	58	42	0	0
5	環境の構成	8	84	8	0
6	保育と計画の評価・反省	25	67	8	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をする。</p> <p>◎1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価する。</p> <p>◎自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行う。</p>					
II	保育のあり方、乳幼児への対応				
1	健康と安全への配慮	99	1	0	0
2	幼児のみとりと理解	25	75	0	0
3	指導とかかわり [心のよりどころとして]	50	50	0	0
4	〃 [遊び・活動の援助者として]	42	58	0	0
5	保育者同士の協力・連携	25	56	0	0
<p>◎乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をする。</p> <p>◎禁止語を不必要に用いないようにする。</p> <p>◎他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れる。</p>					
III	保育者としての資質や能力・良識・適正				
1	専門家としての能力・良識・義務 [専門家としての能力]	17	75	8	0
2	〃 [良識とマナー]	67	33	0	0
3	〃 [義務]	67	25	8	0
4	組織の一員としての在り方	33	67	0	0
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	25	67	8	0
<p>◎保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身に付けている。</p> <p>◎教材・教具の管理、園内外の清掃や整理整頓を実行する。</p> <p>◎当番や役割による仕事を理解し確実に行う。</p> <p>◎社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にす。</p>					

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
IV	保護者への対応・守秘義務				
1	情報の発信と受信	25	75	0	0
2	協力と支援	58	42	0	0
3	守秘義務の遵守	92	8	0	0
4	対応上のマナー・良識	73	67	0	0
5	クレームへの対応の仕方	58	42	0	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞く。</p> <p>◎親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしない。</p> <p>◎電話では、簡潔に要領よく対話することを心がける。</p>					
V	地域の自然や社会とのかかわり				
1	地域の自然・人々とのかかわり	25	75	0	0
2	小学校との連携・接続	17	83	0	0
3	地域の特徴を生かした保育の展開	25	67	8	0
<p>◎地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用する。</p> <p>◎小学校の教育内容について理解するよう努める。</p> <p>◎地域の気候を生かした保育を実践する。</p>					
VI	保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度				
1	研修・研究への意欲・態度	25	67	8	0
2	遊具・教材に関する専門性の向上	17	83	0	0
3	園内の環境に関する専門性の向上	17	66	17	0
4	今日的課題に関する専門性の向上	50	42	8	0
5	自ら高めるための学習	25	66	17	0
<p>◎研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認し、自分なりの考えをまとめる。</p> <p>◎自分の保育について自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて話し合う。</p> <p>◎位置や広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かす。</p> <p>◎アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる課題について関心をもつ。</p> <p>◎幼小連携・接続の意義やあり方について関心をもつ。</p> <p>◎子ども達の安心・安全に関する危機管理について関心をもつ。</p> <p>◎保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等にも関心をもつ。</p>					